



Innovational faction
新和会
大津市議会 OTSU SHINWA-KAI

議会だより
vol. 16
2023.3
令和5年3月25日発行

FAX 077-521-1010
TEL.077-528-2624
〒520-8575 滋賀県大津市御陵町3-1



幹事長からのあいさつ



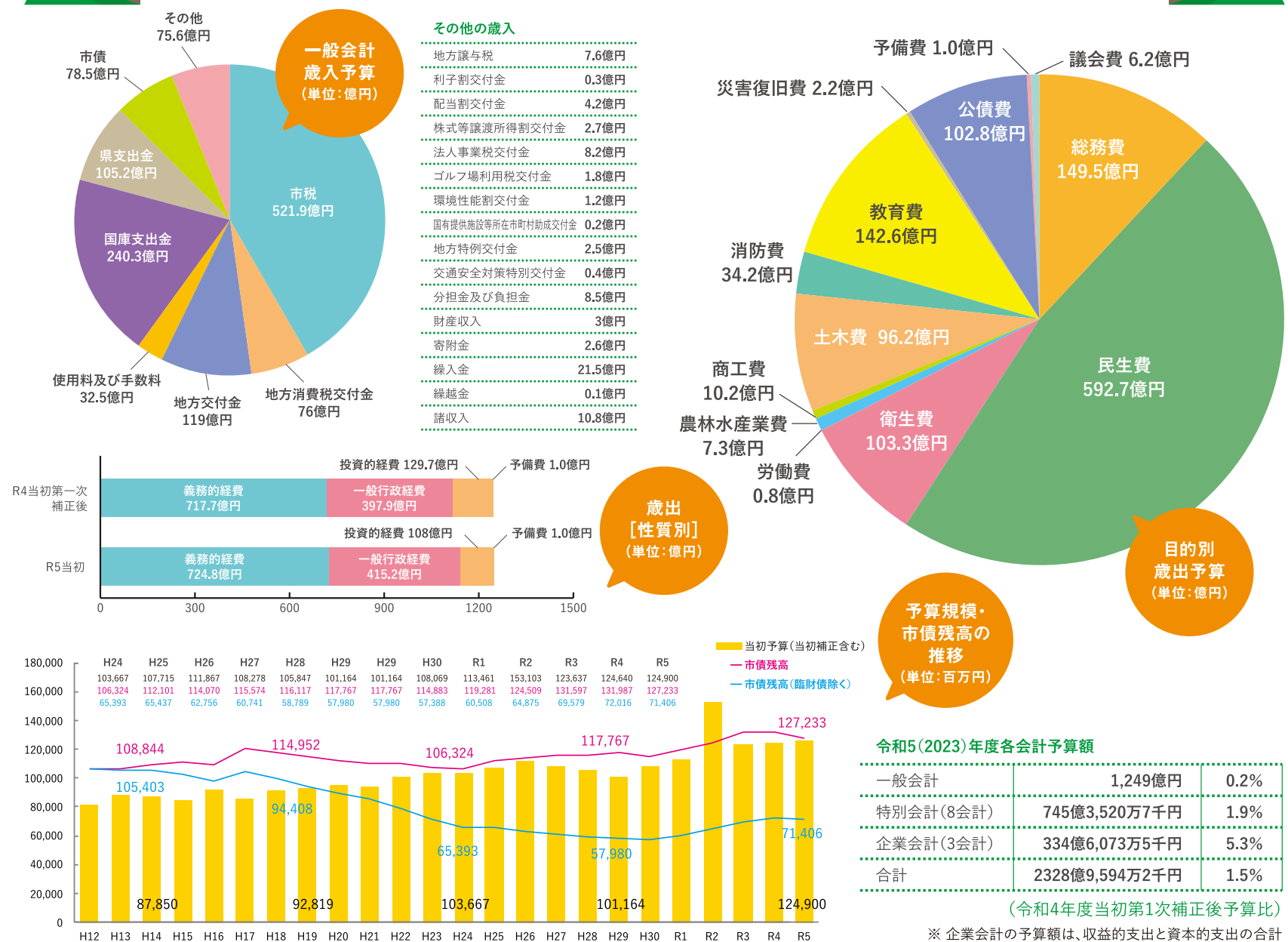
平素は新和会に對しまして、温かいご支援とご厚情を賜り、誠にありがとうございます。さて、新型コロナウイルス感染症に関して政府は、大型連休以降、感染症法上の分類見直しに向けて具体的な調整を進めています。そのような状況の中、3月24日に全日程を終了した令和5年2月通常会議においては、各会計の新年度予算、障害福祉サービスの拡充経費などを盛り込んだ補正予算、また、必要な条例の制定や改正を含む計71議案を慎重に審議し、全議案を可決・同意しました。

特に、医療費助成の対象を小学6年生から中学3年生までに拡大する制度改正については、子育て世代の方が安心して子育てできる環境づくりに寄与する施策として、これまでから我が会派が重点的に執行部へ求めてきたものであり、その要望が具現化されたことは大いに歓迎すべきと考えています。

今後、引き続き、新和会所属議員に対し、ご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

幹事長 仲野 弘子

令和5年度当初予算が決まりました! (数字は小数点第二位四捨五入)



代表質問項目別の市長答弁

幹事長 仲野 弘子



市長任期最終年の市政運営の方針と決意

Q 市長が掲げる「夢があふれるまち大津」の実現に向けたこれまでの取り組みの成果を、より一層市民に実感してもらうべき年度であることを踏まえ、令和5年度の市政運営にどのような方針と決意をもって臨むのか伺う。

A 3年目となる総合計画第2期実行計画を着実に前進させるため、リーディングプロジェクトに位置付けた事業に継続的、発展的に取り組んでいく。加えて、今やるべきことをしっかりと決意のもと、ポストコロナ社会への対応に取り組み、誰もが安心して暮らし活躍できる「夢があふれるまち大津」の実現を目指していく。



高齢者の健康づくりの支援にあたっての啓発

Q コロナ禍の下での行動制限で生活習慣が変化し、健康づくりの意識が薄れた方が多いのではないかと懸念している。高齢者の健康づくりに係る取り組みを効果的に行うには、これまで以上の啓発が必要であると考えますが、見解を伺う。

A 高齢者の健康づくりの支援は、フレイル予防、健康寿命の延伸につながる重要な取り組みであることから、事業をより効果的なものにするため、市において、広報おつややホームページ、それにSNS等を活用して情報発信することに加え、健康推進員や民生委員、民間企業等の協力を得ながら多様な主体による啓発に努めていく。



子ども・家庭への部局横断的な支援体制の構築

Q 子どもたちの抱える課題や困難が多様化、複雑化し、複数の課題が絡み合う複合的な課題も多くなる中、子どもや家庭に寄り添いながら課題の解消を図るには部局横断的な情報共有・連携の体制が不可欠であるが、どのように構築するのか伺う。

A 子どもや家庭が抱える課題の解消を図るためには、部局の枠を超えた連携が重要であると認識しており、福祉や教育などの多様な所属で構成する要保護児童対策協議会において情報共有や関係機関と連携した支援に取り組んでいる。今後も同協議会での連携を深め、子どもや家庭に寄り添った支援につなげていく。

道路網整備計画に基づく都市計画道路整備の推進

Q 都市計画道路は都市における基幹となる重要なインフラであり、令和4年度に新たに策定した道路網整備計画の下で整備を加速させることを期待するが、整備に関する今後の考えについて伺う。

A 当該計画は、国・県や隣接市との連携によるネットワークとして整備効果が高い路線を評価して策定しており、今後25年間の整備方針及び優先度が高い路線を示す道路網マスタープランと今後5年間の取り組みを示す道路整備アクションプログラムに基づき進める考えである。引き続き、国や県に対して、積極的、継続的に要望を行うなど、整備の推進に向けた財源確保にも努めていく。

学校夢づくりプロジェクトのさらなる発展

Q 令和5年2月16日の成果発表会で子どもたちが主体的に生き生きと学んでいることを拝見し、プロジェクトの意義を感じたが、今後さらに効果を高めるためにどのように取り組むのか伺う。

A 積み重ねた努力や体験が素晴らしい価値のあるものだとして大人が認め、伝えることで、さらに夢を膨らませたり、新たな目標に向けて挑戦する意欲が高められると期待している。新年度以降も、学校と地域が一体となって成長を支える活動が展開されることを期待し、各部局の協力も得ながら、市全体で子どもたちの夢の実現を後押しする事業となるよう、一層の充実を図っていく。

交通事故のない大津を目指したさらなる取り組み

Q 交通安全計画の中では、交通事故死者数について常にゼロを目指すとしているが、交通事故は後を絶たず、まだまだ課題が数多く残されていると考える。交通事故のない大津を目指すためにより一層の対策が必要と考えるが、今後の取組について伺う。

A 本市独自の視点として、道路の見通しの確保や自転車の安全利用、歩きスマホの禁止等を盛り込んだ第11次大津市交通安全計画の策定にあわせ、交通安全基金を活用した事業パッケージを展開しているところであり、今後も同計画に基づく交通安全施策を推進し、交通事故のない安全で安心な大津を目指していく。

地域経済の回復と活力ある地域づくり

Q 社会経済活動が本格的に再始動する1年になるとの考えの下に、令和5年度に各種の支援施策の予算を措置しているが、現在の地域経済の状況をどのように捉え、どのように支援施策を展開するのか伺う。

A 県内経済情勢報告において、総括的な判断として「県内経済は、持ち直している」とされており、物価高の影響等を注視する必要はあるものの、景気が持ち直していくことが期待されている。令和5年度は、社会経済活動の本格的な再開を見据えて地域ビジネス支援室の人員体制の強化を図るとともに、きめ細かく市内事業者の伴走支援に努めていく。

庁舎整備の推進

Q 耐震性能の不足をはじめ多くの課題を抱える庁舎の整備について、令和4年度に基本構想を策定したことは大きな前進であるが、整備候補地は「皇子山総合運動公園」と「大津駅・県庁周辺」の2つとされている。今後、整備地の絞り込みに慎重な判断が必要となるが、どのような体制で検討を進めるのか伺う。

A それぞれの候補地について、基本計画の策定に向けての整備手法などの調査を行っており、その状況を踏まえつつ、慎重に候補地を決定していきたいと考えている。引き続き、庁舎整備推進本部やワーキングチームなど、全庁的に検討を進めていく。



質疑・一般質問

令和5年2月通常会議

※質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは津市議会ホームページをご覧ください。

Q 跡地利用の検討にかかる整備完了区域や完了予定時期、また、検討に要する期間について、見解を伺う。

A 跡地利用の検討の時期は、県道5500号までの桜かや線の整備事業完了後であり、完了予定時期は令和6年3月を予定している。また、跡地利用は、公共性と市場性の2つの評価軸によって考えていくこととなるが、堅田駅前という好立地な物件であることを踏まえると、官民連携や、民間活用などの検討も必要であること、また、地元との協議や調整に時間を要することなどから、検討にかかる期間については最短でも1年間位は必要であると考えている。



津田 新三
 ○議会運営委員会委員長
 ○総務常任委員会委員
 ○ゼロカーボンシティ推進対策特別委員会委員
 〒520-0242 津市本堅田五丁目

堅田駅西口土地区画整理事業跡地の利活用の検討について

Q プレコンセプションケアの考え方について、教育委員会との連携も含めて、市民へ啓発すべきと考えるが見解を伺う。

A プレコンセプションケアは、安心・安全で健康やかな妊娠・出産、産後の健康管理を支援する上で、重要な取り組みであることから、教育委員会と連携した小学校高学年への性と健康に関する啓発なども含め、若い世代からの啓発に努めていく。



井内 律子
 ○議会運営委員会委員
 ○施設常任委員会委員
 ○公共施設対策特別委員会委員長
 〒520-0821 湖城が丘

プレコンセプションケアの市民への啓発を

Q 今後さらなるSDGsの推進を図っていくには、市単独での取り組みのみならず多様な関係者との連携が必要だが現状と今後の見解を伺う。

A 京都市や亀岡市などと連携した京滋SDGsプロジェクトなど各自自治体における取り組みへの協力なども通じて推進しており、今後も環境や教育、スポーツといったさまざまな分野で連携を図っていく。



神田 健次
 ○教育厚生常任委員会委員長
 ○ゼロカーボンシティ推進対策特別委員会委員
 〒520-0502 南小松

多様な関係者との連携によりSDGsのさらなる推進を

Q 保育園における見守りカメラの設置について

A 見守りカメラの導入は、プライバシーの問題や、画像の管理など多くの課題があることから、まずは研修等による保育士の資質向上や職員間での信頼関係の構築などに取り組んで参る。しかし、全国において許しがいらない不適切な行為が発生していることから、保育園長会にて議論をして頂くことを考えている。



河村 浩史
 ○生活産業常任委員会委員
 ○公共施設対策特別委員会副委員長
 〒520-0802 馬場2丁目

保育園における見守りカメラの設置について

Q 老朽化している市立幼稚園の維持管理や修繕、建て替えに関する方針について見解を伺う。

A 現在、市立幼稚園のあり方検討を行っている。令和4年度は現状分析を行い、今後は検討結果を踏まえ、改築等の施設整備計画を策定する予定である。また、施設の維持管理や修繕は、将来的な市立幼稚園の再編の可能性にかかわらず、安全面や衛生面への配慮が一定必要であり、修繕などの必要が生じた際には適切に判断していく。



鳥井 義徳
 ○総務常任委員会委員
 ○ICT活用対策特別委員会委員
 〒520-0105 下阪本6丁目

市立幼稚園の施設の維持管理について

Q ペットはもはや家族同然の存在であり、動物愛護の考え方も変化している。また、多頭飼育崩壊や高齢化に伴い飼育が難しくなることなど、市民の生活の質や近隣トラブルにも関わる問題である。今後は、NPOや地域ボランティア等との更なる連携強化が必要と考えるが見解を伺う。

A ペットや動物を取り巻く環境やニーズは多様化してきていると認識している。本市として、監督指導のみならず、動物愛護の推進という立場からも、動物愛護団体やボランティアなど多様な主体との連携は重要であると考えており、より良いペット共生社会を目指し丁寧に対応していく。



笠谷 洋佑
 ○総務常任委員会副委員長
 ○ICT活用対策特別委員会委員
 〒520-0232 真野1丁目

動物愛護・ペット共生について

Q 教員の不足の現状と対応・対策について

A 本市において、本年2月末の時点で代替教員が見つからず、欠員が生じている学校が数校出ている。その対応は、常勤の臨時講師が補充できない場合は、非常勤講師を派遣しているところである。今後とも不足なく配置できるように、県教育委員会に働きかけを続けるとともに、本市としても代替教員を確保できるように、市広報紙やホームページでの講師登録の募集掲載、教育系大学に出向き、卒業時の講師登録を依頼するなど、早期に学校の体制が整うよう鋭意取り組んでいる。今後も、人材の確保に努めてまいります。



細川 俊行
 ○生活産業常任委員会委員長
 ○ゼロカーボンシティ推進対策特別委員会委員
 〒520-0112 日吉台2丁目

教員の不足の現状と対応・対策について

ごあいさつ

委員会で十分な審議を

1期4年間は大変時間の経つのが早かったと思っています。その間において、令和2年度は施設常任委員会副委員長、令和3年度は公共施設対策特別委員会委員長、令和4年度は教育厚生常任委員会委員長として、審議してまいりました。今後も各委員会でも十分審議し、課題解決に取組んで参ります。

広報委員長 神田 健次

今後市民の一員として

当選して以来5期20年、平成29年度には第91代議長の職責を全うできましたこと、長きにわたり議員活動を支えて頂いた皆さまに、心から深く感謝申し上げます。在任中は、「持続可能で住み続けたいまち大津」を目指し、堅田駅西口土地区画整理事業を始め、都市計画道路の整備に取組み、実現させることができました。今後も市民の一人として青少年の健全育成や、まちの活性化に微力ながら尽力して参ります。大津市の発展と新和会の益々のご活躍をご祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

幹事長 仲野 弘子

安全で災害に強いまちを

議会にたずさわり4年がたちました。瀬田の大萱の園児事故に始まり、市民病院・コミセン条例など皆様も巻き込んだ活動がありました。その後、新型コロナウイルスが蔓延する中におきましても、皆様と共に活動を行ってまいりました。また、集中豪雨などの災害が続き、皆様の生活に支障が出ています。今現在も対策が必要となる多数あります。安全なまち、災害に強いまちを目指して今後も活動して参ります。

副政調会長 鳥井 義徳

未来を見据えたまちづくりを

大津市議会議長の要職をお預かりし、市議会議長だけでなく、滋賀県市議会議長会会長や全国市議会議長理事など、多くの役職をいただき、県や国への要望活動など貴重な経験を積み、市政に活かせるよう努めてまいりました。今後も様々な市政に対する要望や皆様の思いを市政に反映していくという責務をこれまで以上に意識して活動に邁進し、信頼される未来を見据えたまちづくりに取組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

議長 伴 孝昭

女性・看護の視点から

4年間ありがとうございました。成果としては、公立保育園おむつの持ち帰りをやめて、園で廃棄していただくことになったのは、保護者の皆様や保育士さんにとっても喜んで頂き良かったです。その他、地域の課題や医療・福祉政策等について取り組んできました。今後は、看護のプロとしてアフターコロナに向けて、地域医療や子育て支援など、女性・看護の視点から生命(いのち)を守るための政策に取り組んで参ります。

幹事 井内 律子

医療・農業を大切にしたい取り組みを

私は市議会議員として2期8年勤めさせていただき、今期において引退を決意させて頂きました。その間、皆様には大変お世話になりました。医療の現場から市政に言う思いで伊香立の田舎から飛び出しました。大津市民の医療の現場が何回となく崩れそうになりましたがそれを阻止できたのは皆さんのおかげだと喜んでおります。また、農業において、今まで以上に行政が力を注ぐようになったことも嬉しく思います。

副議長 西村 和典

益々の大津市の発展を祈念して…

平成19年4月に初当選をさせて頂き、早や4期16年が経過いたしました。そして、今回の任期満了をもって退任を決意いたしました。この間、平成24年には副議長を、27年には議長を経験させて頂き、ご支援ご協力を頂いた市民の皆様をはじめ、関係各位に衷心よりお礼を申し上げます。在任中は「ひと・まち・明日に…」を信条とし、大津市西北部「湖西台」の利活用や歴史を活かしたまちづくりに全力を尽くして参りました。これからも大津市の発展を祈念申し上げ、お礼の挨拶といたします。

幹事 津田 新三

県政・国政の架け橋に

3期12年間、常に市民の皆さまに寄り添い、お聴きする心痛い思いや提言を真摯に受け止め、初心を忘れず丁寧に解決に向けて努力し、少しでもお役に立てればと願うものです。今後は、本市の福祉の充実を始めとして市民の皆さまの声を耳を傾け、粉骨砕身、対応して参る所存です。身近な議員として皆様の声を「聴く」ことを大切にしながら、その声を市政に届け、県政、国政の架け橋を担い、その実現に向けて取り組んでまいります。

副幹事長 八田 憲児

子どもたちに明るい未来を

市議会議員としての2期目、市民の皆様からの叱咤激励のもと、職責を果たすことができましたことに対し、まずは深く感謝申し上げます。この4年間で振り返りますと、新型コロナウイルスの対応対策に追われる日々であったと言えるのですが、不測の事態が起きた時にこそ、政治の力が試されます。ポストコロナに向け、市民の安心安全な生活と子どもたちの明るい未来をしっかりと守るために、引き続き全力で取り組んで参ります。

政調会長 河村 浩史

地域に根差した視点で

2期8年にわたり、議員として職責を果たすことができましたのも、皆様方のご指導ご支援あってのことから感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の発生から3年、地域の繋がりの希薄化や地域経済の疲弊など、様々な課題が顕在化する中、市民に身近な地方議会としてウィズコロナに立ち向かわなければなりません。不測の事態が起きた時こそ政治の真価が問われます。これからは地域に根差した視点で皆様の「思い・お声」を形にするべく取り組んでまいります。

副幹事長 幸光 正嗣

今後の特に力を入れる大津市の課題

- 子育て支援の更なる充実・教育費の更なる軽減
- 地域幹線道路の早期完工
- 移動手段の確保・充実
- 動物愛護・ペット共生の推進
- 新しい地域コミュニティの構築
- 政治のあり方改革

事務局長 笠谷 洋佑

もっと教育の充実を

市の発展に教育は不可欠です。そのため、学校の施設等環境整備などの学校教育の充実に取り組みました。もっと教育の充実が必要です。坂本地域の道路及び河川の整備等、各地域の課題解決にも取り組んできました。議会では令和元年度 公共施設マネジメント対策特別委員会副委員長、令和3年度 交通対策特別委員会委員長、令和4年度 生活産業常任委員会委員長を経験し勉強させていただきました。今後も現場主義で頑張ります。

副広報委員長 細川 俊行



Innovational faction
新和会
 大津市議会 OTSU SHINWA-KAI

